【小深浦地区　意見交換会】

宿毛市市街地における海岸堤防の地震津波対策意見交換会　議事メモ

日　時：平成28年10月24日（月）19：00～20：10

場　所：小深浦公会堂

出席者：小深浦地区　住民５ 名

○県宿毛事務所より説明（別添資料）

宿毛市市街地における海岸堤防の地震津波対策（平成28年度説明会資料）

○質疑応答

Q1：工事完了までどれくらいかかりますか。

県：松田川の橋の下流より工事に着手し、宿毛市の中心地を守れる範囲（沖新田・高砂・大深浦地区）の工事を5年程度で行い、その後、片島と大島に着手し、すべての完了が15年程度で考えています。

意見：与市明川の河口について検討が必要になると思います。

県：検討します。

Q3：樋門（球場付近の）が地震によって、崩れることもありますか。

県：樋門についての耐震検討はこれからですが、護岸・堤防については耐震化を行うので、その中で樋門との兼ね合いもあるので検討していくことになると思います。

Q4：長期浸水の範囲はどの辺りまでを考えていますか。

県：市内はほぼ全域となります。大深浦は下の方（西片島寄り）までは範囲となります。

Q5：全体的に一気に地盤沈下が発生するのですか。

県：高知県全体で一気に地盤沈下が発生します。ただし室戸の方では地盤の隆起も考えられます。

Q6：レベル１地震で2.4ｍも下がるのですか。

県：レベル２地震で2.4ｍの地盤沈下が発生します。

Q7：この辺（小深浦公会堂付近）の地盤は7ｍ程度あるが、浸水することはありますか。

県：T.P　7.0ｍあるのであれば、浸水することはないです。

Q8：以前、お宮のあたりまで浸水が発生すると聞きましたが、あの話は何だったのですか。

県：対策を何もしない状態で東北の大震災（レベル２地震）が発生した時にどこまで浸水が発生するかという話です。

Q9：黒潮町（大方）の避難タワーはレベル２地震を想定しているのですか。

県：そうです。

意見：樋門については十分に検討し、手のかからない、地震に耐えられるものを検討してもらいたいです。

県：分かりました。

高さについては、この高さで進めても良いですか。

意見：堤防を４ｍも上げるのは難しい話だと思います。

少しでも対策をしてもらえれば、それだけでも避難の時間を稼ぐことにもなるので、この高さで進めてもらって良いです。